

報告事項1 令和4年度事業報告書の件

事業報告書

1 概況

令和4年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症について、7月から8月の第7波、11月以降の第8波と大きな感染拡大の波がありましたが、ウィズコロナに向けた政策転換により、経済活動の持ち直しの動きが出てきました。

一方で、急激な円安やロシアのウクライナ侵攻などにより物価が高騰し、12月には消費者物価指数の伸び率が4%と、41年ぶりの高い伸びとなりました。

補てん事業を巡る情勢は、令和4年の飼料原料価格が年間を通じて近年にない高値で推移し、為替相場の急激な円安、海上運賃は船舶需要を反映して堅調に推移したため、令和3年度第4四半期以降令和4年度第3四半期まで、異常補てんを含む高額の補てん発動が続いており、畜産農家にとって厳しい状況が続いています。

このような状況の中、飼料コストを抑制するため、国は令和4年度第3四半期に配合飼料価格高騰緊急特別対策事業を、福岡県においても令和4年7月から令和5年3月までの期間を対象に飼料高騰緊急対策事業を実施し、畜産経営の安定を図ってきたところです。

当基金協会としましても、このような厳しい環境にあって、畜産経営の安定・向上に資するため、配合飼料価格差補てん事業をはじめ、肉用牛、肉豚等に係る経営の安定に関する事業やリース事業に取り組んで参りました。

福岡県をはじめ、一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金、協同組合日本飼料工業会等のご指導と飼料荷受組合のご協力により、滞りなく業務を推進することができました。ここに感謝を申し上げますとともに、事業の内容を報告します。

2 配合飼料価格差補てん事業

(1) 配合飼料価格差補てん契約

ア 令和4年度契約数量、加入者数

4年度最終契約数量合計は第1から4四半期の合計が166,385トンとなり、3年度170,419トンに比べて4,034トン減少しました。また、加入者数は4年度第4四半期が235名となり3年度に比べて13名減少しました。

【最終契約数量及び最終加入者数】

(単位：トン、人)

区 分		1 四半期 4～6月	2 四半期 7～9月	3 四半期 10～12月	4 四半期 1～3月	最終契約数量 (四半期合計)
契約 数量	3年度	42,530	41,468	44,002	42,419	170,419
	4年度	41,736	41,118	42,860	40,671	166,385
加入 者数	3年度	251	251	250	248	—
	4年度	240	240	236	235	—

【畜種別の最終契約数量及び最終加入者数】 (単位：トン、人、%)

区 分		乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	(馬)	計
契約数量	3年度	15,655	24,030	23,419	81,442	25,833	40	170,419
	4年度	14,968	22,580	22,443	80,704	25,690	0	166,385
加入者数	3年度	100	57	25	52	13	1	248
	4年度	95	57	23	48	12	0	235
4年度畜種別数量割合		9.0	13.6	13.5	48.5	15.4	—	100.0
数量対前年比		95.6	94.0	95.8	99.1	99.4	—	97.6
加入者数対前年比		95.0	100.0	92.0	92.3	92.3	—	94.8

イ 契約数量及び加入者数の移動状況

【契約数量及び加入者数の推移】 (単位：トン、人)

区 分	3年度最終	増 減	4年度当初	移 動	4年度最終
契約数量	170,419	△3,336	167,083	△698	166,385
加入者数	248	△8	240	△5	235

【加入者数の増減理由】

減少11人

内訳 廃業6人、購入取止2人、基金間移動(転出)1人、
複数特約店解消1人、複数畜種解消1人

増加3人

内訳 基金間移動(新規)2人、新規1人

【移動の理由】 (単位：トン、人)

区 分	廃業	基金移動 (転入)	基金移動 (転出)	預託契 約解除	譲渡	数量変更	計
契約数量	△202		△136			△360	△698
加入者数	△3		△2				△5

(注)数量変更の対象者は、以下の場合

- ①風水害等の天災もしくは火災等により被害が生じた場合
- ②家伝法等法令の定めに基づく殺処分等の命令が出された場合

【移動の畜種別内訳】 (単位：トン、人)

区 分	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	その他	計
契約数量	△338			△360			△698
加入者数	△5						△5

(2) 通常補てん積立金 (単位：トン 円)

区 分	契約数量	単価	積立金額	全日基への納付日
1 四半期	41,736	600	25,041,600	令和 4年 4月 27日
2 四半期	41,118	600	24,670,800	令和 4年 6月 27日
3 四半期	42,860	600	25,716,000	令和 4年 9月 27日
4 四半期	40,671	600	24,402,600	令和 4年 12月 27日
計	166,385	600	99,831,000	

(3) 別途納付金 (単位：トン 円)

区 分	単価	件数	対象数量	納付金額
新規加入者	0	1	28	0
前年度中途解約者(第2四半期以降通常補てん積立金を納付しなかった者)	940	0	0	0
前年度中途解約者(第3四半期以降通常補てん積立金を納付しなかった者)	2,060	0	0	0
前年度中途解約者(第4四半期通常補てん積立金を納付しなかった者)	3,040	0	0	0
計	—	1	28	0

(4) 通常・異常補てん金の交付状況 (単位：人、kg、円)

区 分	対象者	対象数量	単 価	交付金額	交付日	
3年度 第4四半期	通常	239	38,794,866	3,451	133,881,030	R4. 5.16
	異常			1,749	67,852,167	
	計			5,200	201,733,197	
4年度 第1四半期	通常	233	38,916,492	5,039	57,421,972	R4. 8.15
	異常			4,761	185,281,371	
	計			9,800	242,703,343	
4年度 第2四半期	通常	233	36,791,378	5,454	96,625,621	R4.11.16
	異常			11,346	417,434,920	
	計			16,800	514,060,541	
4年度 第3四半期	通常	230	40,495,124	7,254	169,894,973	R5. 2.16
	異常			496	20,085,542	
	計			7,750	189,980,515	

(注)・令和4年度第1四半期から第3四半期まで通常補てん金は、分割交付を行っているため、単価と対象数量を乗じても交付金額にはならない。

・令和4年度第3四半期の異常補てん金は、異常基金の財源が不足したため、496円/トンの払いきりとなっている。

(所定の算定式による異常補てん金単価は、7,312円/トンと試算される。)

3 配合飼料価格高騰緊急特別対策事業

生産コストの削減や自給飼料向上に取り組む生産者に対して、令和4年度第3四半期（10月～12月）の補てん対象数量に応じ、6,750円/トンの特別補てん金を交付する事業。

事業参加農家は222戸、対象数量は40,422,984kg、交付額は272,855,134円であった。

4 畜産環境整備機構リース事業

令和4年度貸付中の2飼料荷受組合（2戸）の償還実績（動産総合保険料負担金及び保証保険料を除く）は次のとおりである。

(1) 畜産高度化支援リース事業

畜産環境対策は、経営規模の大小を問わず、維持・継続し、または経営規模の拡大により家畜の排せつ物の増加が見込まれることから、畜産経営に関する環境整備に係るふん尿処理施設等を貸し付ける事業。

畜産環境整備機構及び飼料荷受組合から委託を受け、末端借受者に対し借受業務を行うものである。

(単位：件、円)

貸付年度	件数	貸付施設 機械等	3年度末 残高	4年度 償還額	4年度末 残高	備考
30年度	1	自動給餌機	1,099,507	258,907	840,600	経営 リース
3年度	1	曝気装置	8,514,001	1,186,180	7,327,821	環境 リース

5 肉用子牛生産者補給金制度

四半期ごとに農林水産大臣が告示する肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合に、その期間中の肉用子牛を販売または自家保留していた場合に生産者補給金を交付する事業。

事業は畜産協会と生産者が直接契約を結び、補給金は畜産協会から直接生産者に交付される。当基金協会は、畜産協会から事務委託を受けて行う事業のうち連絡業務等を飼料荷受組合に委託し、事業実施に必要な事務処理を実施した。

今年度は子牛価格が一時下落したが、交付実績はなかった。

令和4年の事業参加は、飼料荷受組合4組合、契約生産者5戸、1月から12月の個体登録頭数は518頭であった。

6 肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛生産者の負担金(積立金)と国の交付金をもって、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肉用牛の生産者にその差額の9割を交付する事業。

事業は畜産協会と生産者が直接契約を結び、交付額は畜産協会から直接生産者に交付される。当基金協会は、畜産協会から事務委託を受けて行う事業のうち連絡業務等を飼料荷受組合に委託し、事業実施に必要な事務処理を実施した。

令和4年1月から12月までの令和4年交付実績は次表のとおりであった。

令和4年の事業参加者は、飼料荷受組合7組合、契約生産者27戸、1月から12月の個体登録頭数は6,525頭であった。

事業対象	4年 月別	交付対象頭数および交付精算額（単位：頭、円）			
		肉専用種	交雑種	乳用種	合計
飼料 荷受 組合 7組 合	1月				0 0
	2月		144 1,802,861		144 1,802,861
	3月				0 0
	4月				0 0
	5月				0 0
	6月		165 5,104,980		165 5,104,980
	7月		148 5,056,136		148 5,056,136
契約 生産 者数 27 戸	8月	318 14,489,728	132 5,710,476		450 20,200,204
	9月	373 11,167,390	157 3,384,556	1 40,458	531 14,592,404
	10月	371 11,016,692	196 2,017,132		567 13,033,824
	11月	445 8,457,349	186 328,436		631 8,785,785
	12月	413 2,402,661			413 2,402,661
計	1,920 47,533,820	1,128 23,404,577	1 40,458	3,049 70,978,855	

(注) 二段書きの上段は交付対象頭数、下段は交付金額。

7. 肉豚経営安定交付金制度

肉豚生産者の負担金(積立金)と国の交付金をもって、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肉豚の生産者にその差額の9割を交付する事業。

事業は(独)農畜産業振興機構と生産者が直接契約を結び、交付金は同機構から直接生産者に交付される。当基金協会は、生産者から委託を受けた飼料荷受組合から再委託を受け、事業実施に必要な事務処理を実施した。

令和3年度第4四半期から令和4年度第3四半期まで交付金の発動はなかった。

令和4年度の事業参加は、飼料荷受組合6組合、契約生産者13戸、事業対象頭数78,103頭であった。

8. 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業

肉用子牛の品種区分ごとの全国平均価格(月別)が、発動基準を下回った場合に、経営改善に取り組む生産者に対して、販売頭数に応じた奨励金を交付する事業。

事業参加農家は2戸、交付額は560,000円であった。

9 福岡県畜産振興総合対策事業

配合飼料価格安定対策についての畜産振興の推進を図るため、福岡県畜産振興総合対策事業（配合飼料価格安定推進事業）に取り組んだ。

事業費 6,682,568 円（うち県費補助金 3,000,000 円）

10 飼料高騰緊急対策事業（福岡県直接執行事業）

飼料コスト低減や生産性向上に取り組む生産者に対して、令和4年7月から令和5年3月までに購入した飼料（配合飼料、混合飼料、単味飼料、輸入乾牧草）の購入経費の一部を助成する事業を、県の出先機関（農林事務所）を通じて実施された。

事業実施に際して、生産者の購入数量が確認できる書類が必要なため、基金協会は、荷受組合及び特約店に対して、販売を証明する書類作成の協力依頼を行った。

11 会員の異動

令和4年度は、会員の異動はなかった。

12 その他

県が主催する畜産関係事業推進会議に参画し、畜産行政施策の推進に協力するとともに、畜産関係団体が開催する事業関係の会議に出席した。

13 諸会議及び行事

(1) 会議の開催等

年月日	内 容
4.4.11	令和3年度監査（福岡県自治会館。以下「自治会館」という。） 監事意見：特になし
4.4.20	令和4年度第1回理事会（自治会館） (1) 第47回定時総会に提出する理事の提案議案 第1号議案：令和3年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書承認の件 第2号議案：令和4年度会員会費の額、賦課方法及び徴収方法承認に関する件 第3号議案：役員報酬等の額承認に関する件 第4号議案：借入限度額承認に関する件 第5号議案：次期役員の選任に関する件 付帯決議案 (2) 報告事項 1) 令和3年度事業報告書の件 2) 令和4年度事業計画及び収支予算書の件 3) 諸規程の一部改正の件

4.5.20	<p>第47回定時総会（自治会館）</p> <p>第1号議案：令和3年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書承認の件</p> <p>第2号議案：令和4年度会員会費の額、賦課方法及び徴収方法承認に関する件</p> <p>第3号議案：役員報酬等の額承認に関する件</p> <p>第4号議案：借入限度額承認に関する件</p> <p>第5号議案：役員を選任に関する件</p> <p>報告事項</p> <p>1) 令和3年度事業報告の件</p> <p>2) 令和4年度事業計画書並びに収支予算書の件</p> <p>3) 諸規程の一部改正の件</p>
4.12.8	<p>配合飼料緊急対策事業(国及び福岡県)等説明会 (福岡県基金協会主催、リモート)</p> <p>1 配合飼料価格高騰緊急特別対策事業(国)について</p> <p>2 飼料高騰緊急対策事業(福岡県)について</p> <p>3 配合飼料価格差補てん事業について</p>
5.3.1	<p>令和4年度第2回理事会（自治会館）</p> <p>1 決議・承認事項</p> <p>第1号議案：令和5年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)承認の件</p> <p>第2号議案：令和5年度会員会費の額、賦課方法及び徴収方法承認の件</p> <p>第3号議案：役員報酬等の額承認の件</p> <p>第4号議案：諸規程の一部変更承認の件</p> <p>2 報告事項</p> <p>1) 令和4年度事業報告書の件</p>

(2) 会議の出席等

年月日	内 容
4.5.11	労働保険事務手続講習会（県社会保険協会主催、福岡市）
5.31	マルキン事業等担当者打合せ会議（畜産協会主催、自治会館）
6.7	算定基礎届事務説明会（県社会保険協会主催、福岡市）
6.7	福岡県養鶏協会総会（福岡市）
6.16	日本年金機構オンライン研修（リモート）
6.23	農林水産省政策に関する地方説明会（リモート）
6.27	（公社）福岡県畜産協会定時総会(福岡市)

7. 5	山口・九州地区基金協会第1回常務理事会（鹿児島市）
7. 11	農山漁村地域人権問題啓発推進研修会（福岡県主催、福岡市）
7. 13	厚生労働省労働契約等セミナー（リモート）
7. 28	畜産高度化支援リース事業等推進全国会議 （（一財）畜産環境整備機構主催、リモート）
8. 8	（公社）福岡県畜産協会臨時総会（書面）
10. 27	健康保険委員研修会（全国健康保険協会主催、福岡市）
10. 28	福岡県高病原性鳥インフルエンザ緊急防疫会議 （福岡県主催、福岡市）
11. 8	インボイス制度等への公益法人等の対応について （公益情報システム（株）主催、リモート）
11. 9	山口・九州ブロック基金協会事務職員会議（リモート）
11. 14	福岡県家畜防疫対策連絡会議（福岡県主催、福岡市）
11. 17	年金給付等オンライン研修会（日本年金機構主催、リモート）
11. 18	福岡県高病原性鳥インフルエンザ緊急防疫会議 （福岡県主催、福岡市）
11. 18	飼料価格高騰緊急対策説明会（農水省主催、リモート）
11. 24	農山漁村地域人権問題啓発推進研修会（福岡県主催、福岡市）
11. 29	配合飼料価格安定基金の運営に関する実態調査（福岡市、北九州市）

令和4年度事業報告の附属明細書

事業内容を補足する重要な事項は特になし。